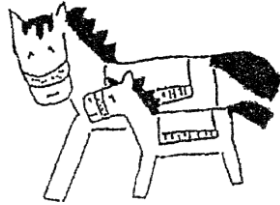


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

22年 8月 NO. 189



(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～

8月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

8月 6日	金	おはなしの会 10:00～11:00	今月は2才児クラスも参加します。 夏ならではのおはなしが楽しみです。
8月 7日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って あそびましょう。
8月 7日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	冷房でひえた体を動かして 循環をよくしましょう。
8月 21日	土	地藏盆のつどい 17:00～20:00	縁日や人間劇、花火もあります。 ご近所おさそいあわせてどうぞ！
8月 26日	木	香川みずぶさんの会 14:00～16:00	フラワーセラピスト井上さんと 安らぎのひとときを体験しましょう。 生花は準備しています。 (花バサミ持参、託児予約要)
8月 28日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験に おいで下さい。
8月 28日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	夏の疲れや睡眠不足を解消しましょう。

- ・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)
- ・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談 (月～土) 9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

海の人形



大きな真珠のお手まりや、
貝のかずかず、枝珊瑚、
人魚のむすめは飽きました。

おかの
黒い子供のもつという、
陸のおめめの人形が、
ほしい、ほしいと泣きました。

母さん人魚はいとしさに、
人形抱いた児の船を、
沈めてそれを奪りました。

むすめは人形みるたびに、
とおいお国がこいしくて、
とうとう海を捨てました。

海の人形はやわらかな、
も
藻のゆりかごで、すやすやと、
いまも、お夢をみています。

陸の人魚は、ふるさとを、
こいし、こいしと磯でなく、
磯のちどりになりました。

金子みすゞ
童話全集 3
空のかあさま・上より

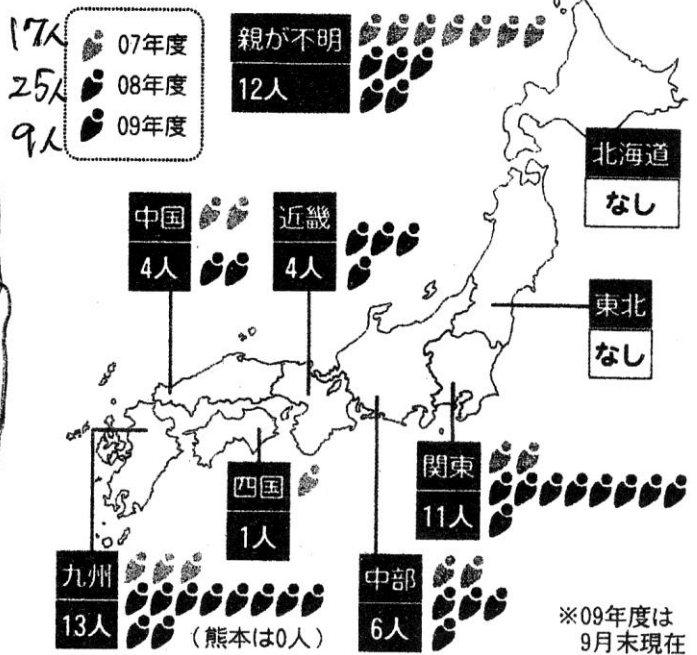
赤ちゃんポスト3年

まず命を救いたい!

～赤ちゃんポスト～

親が育てられない子を匿名で受け入れる施設で、親が建物の外側から子を入れて扉を閉めると、施設の職員が子を保護する仕組み。慈恵病院はドイツの施設を参考に、妊娠・育児の相談業務と併せて運営している。ドイツでは法的位置付けはないものの国内約90カ所に設置、米国では親が職員に直面して子を託す形で、全州が制度化している。

赤ちゃんポストに入れられた子の親の居住地



熊本市の慈恵病院が、親が育てられない子どもを匿名で受け入れる「赤ちゃんポスト」(こうのとりのゆりかご)を開設し、5月で3年。預けられた子は昨年9月までで51人に上る。捨てられていたかもしれない命を救ってきた一方で、ポストに入れられた子を育てていく支援の乏しさも見えてきた。熊本県や市は「一自治体で解決できる問題ではない」と、国に妊娠、出産、育児にかかわる制度の見直しを求めている。

熊本県の「こうのとりのゆりかご検証会議」の最終報告によると、平成21年9月末までに預けられた子供51人の内訳は、生後1ヶ月未満の新生児43人、1ヶ月以上1年未満の乳児6人、1年以上小学校入学前の幼児2人。

身元が分かった子は39人。親の住所は関東以南の全国に散らばるが、地元・熊本県はゼロだった。親にポストを使った主な理由を聞いたところ、「戸籍に入れたくない」が最多の8件で、生活困窮7件、不倫5件と続く。

子どもたちは児童相談所の保護下に置かれ、児童養護施設に送られる。現在も施設で暮らす子は31人。12人は里親に育てられ、7人は親元に帰った。

病院は当初、同様制度のある諸外国のように、ポストに入れられた子どもが新しい家庭の養子になることを想定していた。だが、養子縁組が成立した子は51人中1人しかいない。

日本の養子制度には「普通養子縁組」と「特別養子縁組」の二つがある。実親が育てられなくなった場合、家裁の審判を経て戸籍上も養親の実子になるのが后者だ。しかし、特別養子縁組は原則として実親の同意が必要になる。虐待や育児放棄などの場合は例外的に不要だが、ポストに子を入れるという行為には明確な基準がない。後から親が名乗り出てくる可能性もあり、審判の申し立てに至っていないのが実情だ。

このため、病院は2年目から方針を大きく変えた。ポスト周辺で利用者らしき人がいれば積極的に声をかけ、ホームページ上からは「匿名で預かる」との文言を削除。09年1月には扉の表示を「赤ちゃんになにかをのこしてあげて」から「開ける前に、インターホンを鳴らして相談してください」に改めた。

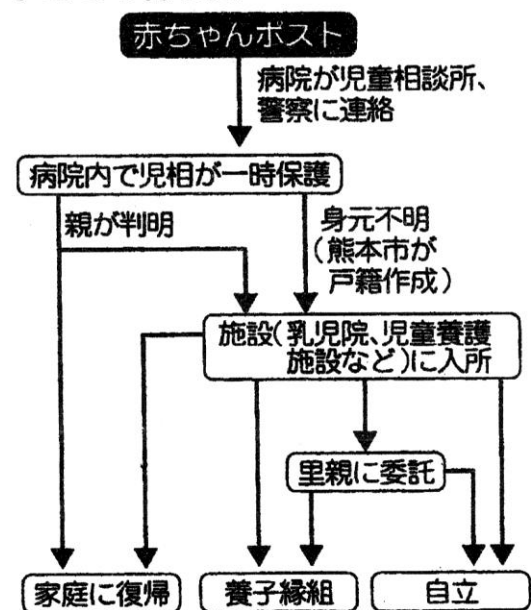
利用前に相談してもらえれば、公的機関への引き継ぎや養子縁組の案内など、選択肢が広がる。親が判明すると、養子縁組が成立する可能性も高まる。「ゆりかごよりも相談を」。同院の蓮田太二理事長が繰り返し訴えてきた言葉は、切実さを増している。

検証会議の最終報告は「ポストを使わないで済む制度」を国に強く求めた。その一つが匿名で妊娠相談を受け、出産や子の保護も引き受けるシェルターの整備。従来の行政相談では緊急対応までは難しいとして、各地の産科病院に設置して国が連携や質の確保を担うことを提案した。

また、母子手帳交付や出生届と別に、医療機関が扱った妊娠や出産を保健所に報告する制度の検討も求めた。51人の過半数は医療機関で生まれたとみられる。病院などから出産の報告があったのに出生届が来ない例を行政が把握できれば、ポストを使わずに支援できるのでは、との思いが関係者にはある。

だが、国の動きは緩慢だ。2月には蒲島郁夫知事らが関係省庁に要請文を渡したが、国側は「国としてやれることを検討したい」（山井和則厚生労働政務官）など慎重姿勢

赤ちゃんポストに入れられた 子どもの行き先



に終始した。窓口がはっきりしないのも対策が進まない一因とみられる。県と市は法制上の問題点の整理など、国の関与を求めている。(毎日(東京)朝刊より)

講演会のお知らせ

こうのとりのゆりかご

赤ちゃんの命を
救いたい!

講師

蓮田太二氏 (慈恵病院理事長)

田尻由貴子氏 (慈恵病院看護部長)

はすだ・たいじ氏 PROFILE

慈恵病院理事長、日本産婦人科学会認定医。

2007年5月、新生児を匿名で受け入れる窓口「こうのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」を設置し、全国で注目を集める。また小・中・高校生を対象とした性教育の出張講義「いのちの講演会」や生命尊重教育、子育て支援など、さまざまな活動を続けている。

平成22年

8月22日(日)

13:30~15:45 (開場13:00)

香川県社会福祉総合センター

1F/コミュニティホール

参加費 1000円 (当日1200円)
学生 500円 (中学生以下無料)

たじり・ゆきこ氏 PROFILE

慈恵病院看護部長

蓮田理事長と「ゆりかご」開設に携わる。24時間体制の「SOS赤ちゃんとお母さんのための相談窓口」相談員。相談は年間約500件、全国から寄せられている。3人の子育てをしながら看護職通算36年のキャリアを持つ。

平成19年熊本県知事表彰。



ビデオ上映

「赤ちゃんポスト」

—ドイツと日本の取り組み—

【お申込み
お問合せ】

エンブリオ香川

tel 087-848-0761 087-866-6323

託児あり
要予約

チケットは ●ゆめタウン高松(中央サービスカウンター) ●オカウチAPI(高松店・丸亀店)
●高松天満屋(地下1Fギフトサロン)でもお求めになれます。

【主催】エンブリオ香川

【後援】香川県 香川県教育委員会 香川県社会福祉協議会 高松市 高松市教育委員会 高松市社会福祉協議会
香川県PTA連絡協議会 香川県医師会 高松市医師会 香川県看護協会 日本カトリック医師会高松支部
四国新聞社 RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送 NHK高松放送局 高松リビング新聞社